

子供たちの声があふれる学校

8月28日(水)、約1ヶ月間の夏休みが終わり、前期後半がはじまりました。私よりも先に「おはようございます。」と笑顔であいさつをしてくれた中央っ子がいれば、いつもは笑顔なのに少し顔を下げて登校している中央っ子もいました。気になったので、オンラインによる「はじまりの会」の後に教室訪問をすると、子供たちが紙を持って「前期後半も、よろしくお願いします。ところで、アイス食べた？」と友達に声をかけていました。私は「アイス食べた？ってなぜ聞くのだろう」と思い、子供たちの活動の様子を見てみると、「夏休みビンゴ」という活動をしていて、

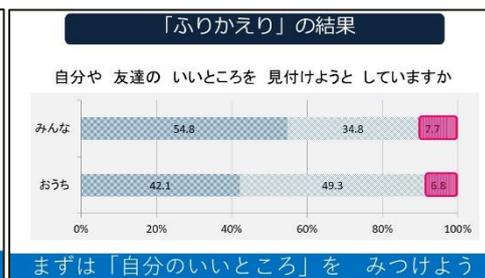
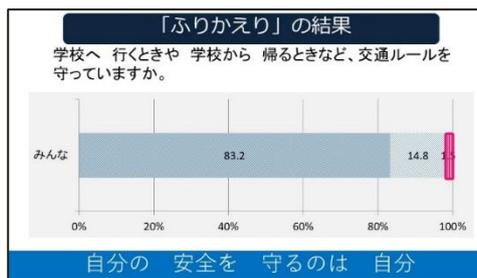


「夏休みビンゴ」の様子

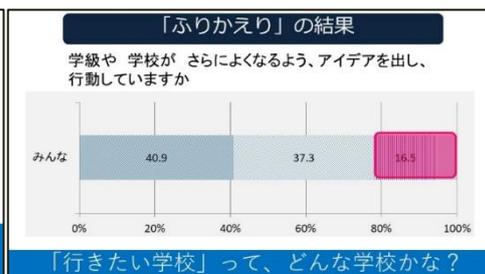
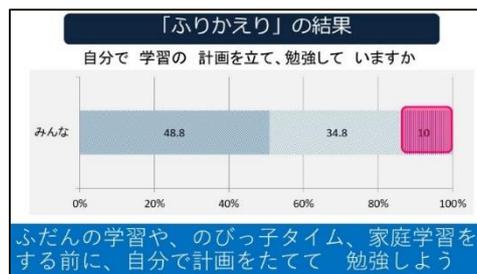
たくさんの友達に自分から声をかけて夏休みをどのように過ごしたのか報告をしていたのです。子供たちの声があふれる学校が戻ってきました。安全・安心を第一に教育活動に取り組んでまいります。

目標達成に向けて

7月、全学年の子供を対象に前期前半を振り返るアンケートを実施しました。昨年度と質問内容を変え、本年度は本校がめざしたい子供の姿と、6年学力調査で実施する児童質問紙の質問内容と関連付けたので、昨年度と比較はできませんが、「よくできた」「できた」「あまりできていない」「できていない」の4つの回答のうち、「あまりできていない」「できていない」の否定的回答をできるだけ減らしていきたいね、と子供たちに話をしています。グラフでいうと、赤く示しているところが否定的回答です。



←この2つの質問内容は、もう少しで肯定的回答100%をめざせる内容です。しかし、交通ルールについては、地域の方から学校へお電話をいただくこともあることから、意識付けが必要です。



←学習習慣を身に付けること、アイデアを出したり行動に移したりすることが苦手なようです。子供に寄り添いながら、活動をより多く設定していきたいと考えています。

また、6月27日に実施しました保護者アンケート結果と分析につきましては、中央っ子通信第6号でお知らせします。ご協力ありがとうございます。